

# 田尻町 津波 ハザードマップ

**津波警報・大津波警報が発令されたときはすぐに避難**  
地震発生後、津波が到着するまでの約80分間に

- ▶ 駅上広場を目標に、徒歩で避難しましょう。
- ▶ 逃げ遅れた方、遠くまで逃げるのが困難な方は、津波避難ビルなど高い所へ避難しましょう。

## 東日本大震災で役立つ避難のための三原則

### 原則1

**「想定にとらわれるな」**  
相手は自然、人間の想定を超える事態も当然おこります。

### 原則2

**「最善をつくせ」**  
「ここまでくればもう大丈夫だろう」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとりましょう。

### 原則3

**「率先避難者たれ」**  
まず自分が率先して避難しましょう。その姿を見て、他の人も避難し、結果的に多くの人の命を救うことにつながります。

「岩手県釜石市の津波防災教育」より

## 緊急時連絡先

火事・救急 119 番  
警察 110 番

機関名	電話番号
田尻町役場	466-1000
泉佐野消防署 田尻出張所	465-0119
田尻町交番	464-1234 <small>(泉佐野警察署経由)</small>



田尻町

# わが家の防災チェックリスト

平常時から、家中の中や外の状態を確認し、必要な対策を行うことがあなたや家族の命を守ります。

家中の対策	家の外の対策
<input type="checkbox"/> 家具や家電の「転倒防止策」をしている	<input type="checkbox"/> 耐震性を確認している(昭和56年6月以後に建築されたかどうか)
<input type="checkbox"/> 寝室やリビングに背の高い家具を置いていない	<input type="checkbox"/> 屋根瓦やアンテナなどが不安定になっていないことの確認をしている
<input type="checkbox"/> 不安定な床や窓際に、倒れやすい家具を置いていない	<input type="checkbox"/> 玄関まわりには避難の際に邪魔になる物を置いていない
<input type="checkbox"/> 窓ガラスや食器棚などのガラスに「飛散防止フィルム」を貼っている	<input type="checkbox"/> ブロック塀の状態を確認している
<input type="checkbox"/> 食器棚には「扉開放防止器具」を付け、中の食器の滑り出しを防いでいる	<input type="checkbox"/> 集合住宅では避難出口(ハッチ)の周辺に邪魔になる物を置いていない

## 非常用持出品・備蓄品チェックリスト

### ◎非常用持出品

災害発生時にまず持ち出すもので、最初の1日をするぐことを目安に備えておくものです。

品名	備考
<input type="checkbox"/> 現金(10円玉)	10円玉は公衆電話で使用。通帳、保険証、免許証などをコピーしておきましょう。
<input type="checkbox"/> 現金通帳・保険証・免許証などのコピー	
<input type="checkbox"/> 印鑑	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯・携帯ラジオ・予備の乾電池	懐中電灯はヘッドランプ型が便利です。(1人に1個用意)
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん	
<input type="checkbox"/> ホイッスル	
<input type="checkbox"/> 履き物(屋内に用意しておく)	
<input type="checkbox"/> 乾パンなど	飲料水は1人1日3Lが目安です。
<input type="checkbox"/> 缶詰(缶切り不要のもの)	
<input type="checkbox"/> 飲料水	
<input type="checkbox"/> 救急セット	救急セットには絆創膏・消毒薬・ガーゼなどを準備。
<input type="checkbox"/> 常備薬・処方箋の控え	
<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・ウエットティッシュ	
<input type="checkbox"/> 防寒シート(ブランケットタイプ)	
<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	
<input type="checkbox"/> 軍手	
<input type="checkbox"/> ライター・マッチ・万能ナイフなど	
<input type="checkbox"/> 携帯用カイロ	
<input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下	
<input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット・雨具	

・家族構成や家庭の事情に合わせて準備しておくとう便利なもの

### ◎備蓄品

避難所や自宅での避難生活を約1週間想定して、必要な備蓄品を備えておくものです。

品名	備考
<input type="checkbox"/> レトルト食品(ごはん、おかゆなど)・アルファ化米など	
<input type="checkbox"/> インスタント麺・レトルト食品・缶詰など	缶詰は缶切り不要のものが便利です。
<input type="checkbox"/> 飲料水	1人1日3Lが目安です。
<input type="checkbox"/> カセットコンロ・ガスボンベ	予備のボンベも準備しましょう。
<input type="checkbox"/> 皿・コップ・はし	プラスチック製が便利です。
<input type="checkbox"/> ラップ	食器に敷けば洗う必要がありません。
<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・ウエットティッシュ	
<input type="checkbox"/> ビニール袋	雨具や敷物、簡易トイレとしても使用可能。濃い色のものが便利です。
<input type="checkbox"/> 給水用ポリタンク	生活用水に日頃から水をためておくとう便利です。
<input type="checkbox"/> 水のいらないシャンプー	
<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
<input type="checkbox"/> ランタン・予備の乾電池	
<input type="checkbox"/> 工具セット(ロープ含む)	救助活動の際に使えます。
<input type="checkbox"/> 長靴や厚手の靴	がれきなどから足を保護します。

・ここで示しているのは一例です。リストを参考に、わが家で必要なものを書き加えましょう。

<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

## 津波避難の基本方針

地震発生後、約80分で津波の第一波が到達すると想定されています。あわてずに落ち着いて避難しましょう。また津波は何度も押し寄せてきます。安全が確保できるまで避難場所等に留まりましょう。

### 災害時の避難の流れ



### 津波に関する警報・注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より大津波警報や津波警報、注意報が発令されます。0.5mの津波でも人は流されます。木造住宅は2mで倒壊してしまいます。

区分	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	直ちに海岸や河口から離れ <b>駅上広場を最終目標に最寄りの標高の高い所へ徒歩で避難する。</b>
	10m(5m<高さ≤10m)		
	5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	—	直ちに海岸や河口から離れ今後の情報に注意する。

## 津波から身を守る

津波から身を守るには「にげる」しかありません。津波が発生しても、迅速な対応をとって避難すれば被害を軽減することができます。自分の命を守るために早めの避難を心がけましょう。

### 津波避難の心得

- 地震の揺れを感じたら津波に注意**  
地震の揺れを感じたらまず身の安全を確保しましょう。安全が確保されたら、津波に関する情報を確認しましょう。
- 正しい情報を聞く**  
テレビ・ラジオや携帯電話などを活用して、正確な情報を入手しましょう。
- 避難情報が出たらすぐに避難!**  
防災スピーカーや携帯メール、テレビ、ラジオ等で避難情報が出たら率先して避難しましょう。たとえ避難情報が出る前でも早めの自主避難を心がけてください。
- 避難は徒歩で!**  
車での避難は、渋滞・混乱を引き起こすので、徒歩で避難しましょう。
- 海岸や川には近づかない!**  
海岸に近づかないことはもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼります。できるだけ川に近づかずに避難しましょう。
- 地域で協力し合って避難!**  
避難の時にはご近所にも声をかけ合い、みんなでケガや病気の方、お年寄りやお体の不自由な方などの助けを行い、地域で協力し合う避難を心がけましょう。  
また長い距離を歩くのが難しい場合は緊急避難場所として近くの津波避難ビルへ避難しましょう。
- 水が引いても安全が確保できるまで戻らない!**  
津波は第1波、第2波と何度も押し寄せてきます。安全が確保できるまで避難場所に留まりましょう。

### 津波や地震に関する情報の入手方法

**NTT災害用伝言ダイヤル 171 番**  
災害によって電話が通じなくなった時のために災害用伝言ダイヤル「171」を覚えておきましょう。音声ガイダンスに従って録音・再生してください。

**伝言を録音する場合**  
171+1+自分の家の電話番号(市外局番から)

**伝言を再生する場合**  
171+2+連絡を取りたい方の電話番号(市外局番から)

**携帯電話 災害用伝言板**  
携帯電話各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開き安否情報をテキストで登録します。登録された安否情報は携帯電話やパソコンから確認することができます。

各社のトップメニュー「災害用伝言板」

**伝言を入力する場合**  
「登録」を選択して、伝言を入力する

**伝言を確認する場合**  
「確認」を選択して、安否を確認したい人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

おおさか防災ネット <http://www.osaka-bousai.net/>

大阪府と府内の全市町村が共同して、住民のみなさんが災害等の発生時に安全に行動することができるよう、幅広い情報をインターネットにより提供するシステムです。  
また、携帯メールアドレスを事前に登録していただくことにより、気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・避難指示などの防災情報がメールで配信されます。(田尻町の町内放送の内容もメールで配信しています。)

【防災情報のメール配信登録方法】  
「tourou@osaka-bosai.net」へ空メールを送信するか、右のQRコードを読みとって送信してください。



<企画・発行> 田尻町 平成26年(2014年)3月

〒598-8588 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 TEL/072-466-1000(代表)

ホームページ [田尻町](#)